

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医療情報連携・保全基盤推進事業		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～		担当課室	研究開発振興課 医療技術情報推進室		室長：石井安彦	
会計区分	東日本大震災復興特別会計		施策名	I-3-1 医療情報化の体制整備の普及を推進すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成21年4月：デジタル新時代に向けた新たな戦略～三カ年緊急プラン～ 平成21年7月：i-japan戦略2015 平成22年5月：新たな情報通信技術戦略			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療機関の医療情報システム内の主要情報を外部に保存し、災害など非常時のバックアップとするとともに、連携する医療機関からも情報を見て診療に役立てられるよう、「情報連携・保全基盤整備」を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	診療情報を必要に応じて医療機関相互で参照し、診療に活用するなど、安全かつシステムベンダーにとらわれない「情報連携基盤(サーバ等機器・設備システム)」を整備するものに対する補助。(補助率1/2)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算				950	950
		繰越し等					
		計				950	950
	執行額						
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	診療情報を必要に応じて医療機関相互で参照し、診療に活用するなど、質の高い地域医療連携を推進する。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	補助実績施設数		活動実績	-	-	-	-
			(当初見込み)		( - )	( - )	( - )
単位当たりコスト	95,025,000(円/1施設当たり)		算出根拠	950,250,000円/10施設=95,025,000円/1施設当たり			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	補助金	950	950				
	計	950	950				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<p>・先の震災では津波により診療情報が流失したため、適切な医療の継続が困難になったが、この事業はその経験を生かし、平時における診療情報の保全(バックアップ)を兼ね備えた医療連携事業であり、ニーズや優先度は高い事業である。</p> <p>・地方自治体を越えた地域の医療情報連携も可能となるよう、国が実施すべき事業である。</p>
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	平成24年度事業の実施状況を踏まえ、事業の見直し等を検討したい。		
予算監視・効率化チームの所見			
	医療情報連携・保全基盤推進事業については、医療機関の医療情報システム内の主要情報を外部に保存し、災害など非常期のバックアップとする等のための事業であり、必要性の観点から優先度の高い事業である。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新24-0009

※平成23年度実績を記入

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					